

教員資格及び教育内容等の自己評価書

SBC東京医療大学大学 健康科学部 理学療法学科

2025 年 4 月

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数							非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考	
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理 学 療 法 士 又 は 作 業 療 法 士 数				助手
健康科学 部 理学療法 学科	8人 (学長 含)	3人	5人 (育休2 人含)	3人	19人	8人	19人	0人	0人	17.5人	
計	7人	3人	3人	3人	16人	8人	16人	0人	0人	20.8人	

【自己評価1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定 規則 教育 内容	相当授業科目 名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
教養科目	人間の本質の探究	武道文化論	15	金丸雄介	専任
教養科目	人間の本質の探究	日本倫理思想	15	唐澤 至朗	兼任
教養科目	人間の本質の探究	思索と哲学演習	15	川口由起子	兼任
教養科目	人間の本質の探究	国文学	15	今村ゆずか	兼任
教養科目	人間の本質の探究	国語表現法	15	今村ゆずか	兼任
教養科目	人間の本質の探究	心理学	15	須藤武司	専任
教養科目	人間の本質の探究	世界の歴史と文化	15	孫 靖	兼任
教養科目	人間の本質の探究	文化人類学	15	中畑充弘	兼任
教養科目	自然と社会の理解	現代生物学	15	中島琢磨	専任
教養科目	自然と社会の理解	現代物理学	15	西川哲夫	専任
教養科目	自然と社会の理解	現代社会学	15	網屋信介	兼任
教養科目	自然と社会の理解	現代経済学	15	高瀬 尚彦	兼任
教養科目	自然と社会の理解	日本国憲法	15	伊藤友則	兼任
教養科目	自然と社会の理解	国際関係論	15	伊藤光子	兼任
教養科目	自然と社会の理解	人間関係実践演習Ⅰ	15	中島琢磨	専任
教養科目	自然と社会の理解	人間関係実践演習Ⅱ	15	檀和夫	専任
教養科目	自然と社会の理解	人間関係実践演習Ⅲ	15	山田洋一	専任
教養科目	情報の活用	統計学	15	西川哲夫	専任

教養科目	情報の活用	情報処理演習Ⅰ	15	西川哲夫	専任
教養科目	情報の活用	情報処理演習Ⅱ	15	岡部拓哉	兼任
教養科目	情報の活用	総合英語Ⅰ	15	林響子	専任
教養科目	情報の活用	総合英語Ⅱ	15	鄧瑩	兼任
教養科目	情報の活用	実践医療英語	15	林 響子	専任
教養科目	情報の活用	英会話	15	Kristine A.Recabar	兼任
教養科目	情報の活用	ベーシック・イングリッシュ	15	鄧瑩	兼任
教養科目	こころとからだの表現	芸術表現Ⅰ	15	金森昭憲	兼任
教養科目	こころとからだの表現	芸術表現Ⅱ	15	笹山紅樹	兼任
教養科目	こころとからだの表現	スポーツ理論と実習Ⅰ	15	野田 哲由	専任
教養科目	こころとからだの表現	スポーツ理論と実習Ⅱ	15	野田 哲由	専任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(体づくり運動)	15	山田利彦	専任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(陸上競技)	15	野田哲由	専任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(器械運動)	15	田中光	兼任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(バレーボール)	15	開講なし	該当なし
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(サッカー)	15	野田 哲由	専任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(柔道)	15	金丸 雄介	専任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(ダンス)	15	田巻以津香	兼任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(水泳)	15	馬場宏輝	兼任
教養科目	こころとからだの表現	体育実技(ワークアウト)	15	開講なし	該当なし
教養科目	教育の基礎的理解	教育原理	15	茂木輝順	兼任
教養科目	教育の基礎的理解	教育心理	15	須藤武司	専任
教養科目	教育の基礎的理解	教育方法論	15	三浦芳恵	兼任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	生化学(栄養学を含む)	15	中島琢磨	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	人間発達学	15	山田洋一	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅰ	15	町田志樹	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学Ⅱ	15	町田志樹	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	解剖学実習	15	町田志樹	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	神経解剖学	15	寺島俊雄	兼任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅰ	15	増田敦子	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学Ⅱ	15	増田敦子	専任

基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	生理学実習	23	増田敦子	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	臨床心理学	15	須藤武司	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	微生物学・免疫学	15	中島琢磨	専任
基礎・臨床 医学科目	人体の構造と機能及び心 身の発達	臨床検査概論	8	開講なし	該当なし
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	病理学	15	河村俊治	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	病態生理学	15	増田敦子	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	内科学Ⅰ	15	松尾洋史	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	内科学Ⅱ	15	松尾洋史	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	外科学	15	了徳寺大郎	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	整形外科Ⅰ	15	下小野田一騎	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	整形外科Ⅱ	15	下小野田一騎	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	神経内科学Ⅰ	15	檀 和夫	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	神経内科学Ⅱ	15	檀 和夫	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	精神医学	15	齋藤洋紀	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	小児科学	8	畠井芳穂	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	老年医学	8	阿部吉伸	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	薬理学	8	檀和夫	専任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	救急法	15	恵秀彦	兼任
基礎・臨床 医学科目	疾病障害と成り立ち及び回 復過程の促進	画像診断学	8	下小野田一騎	専任
基礎・臨床 医学科目	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 (栄養学・予防の基礎を 含む)	15	平野正広	専任
基礎・臨床 医学科目	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	ケアマネジメント論 (自立・就労支援・地域 包括ケアを含む)	15	山田洋一	専任
基礎・臨床 医学科目	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	衛生学・公衆衛生学	15	木谷誠一	専任
専門科目	基礎理学療法学	運動学Ⅰ	15	盆子原秀三	専任
専門科目	基礎理学療法学	運動学Ⅱ	15	中村浩	専任
専門科目	基礎理学療法学	運動学実習	23	加藤宗規	専任
専門科目	基礎理学療法学	臨床運動学実習	15	盆子原秀三	専任
専門科目	基礎理学療法学	理学療法学概論	8	武内朗	専任
専門科目	基礎理学療法学	医療情報学	8	山之口美喜生	専任
専門科目	基礎理学療法学	理学療法学研究法特論	8	加藤宗規	専任

専門科目	基礎理学療法学	日常生活活動学	8	荒井沙織	専任
専門科目	基礎理学療法学	日常生活活動学実習	8	山田洋一	専任
専門科目	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	30	武内朗	専任
専門科目	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅱ(画像評価を含む)	15	兔澤良輔	専任
専門科目	理学療法評価学	機能能力診断学実習	23	荒巻英文	専任
専門科目	理学療法評価学	神経診断学	15	加藤宗規	専任
専門科目	理学療法治療学	基礎運動療法学	8	石井成美	専任
専門科目	理学療法治療学	基礎運動療法学実習	23	武内朗	専任
専門科目	理学療法治療学	応用運動療法学	8	柘幸伸	専任
専門科目	理学療法治療学	物理療法学総論	23	荒巻英文	専任
専門科目	理学療法治療学	義肢装具学	15	柘幸伸	専任
専門科目	理学療法治療学	義肢装具学実習	23	澤広太	専任
専門科目	理学療法治療学	整形外科系障害理学療法学	8	山田洋一	専任
専門科目	理学療法治療学	整形外科系障害理学療法学実習	23	平野正広	専任
専門科目	理学療法治療学	整形外科系障害理学療法学演習	15	兔澤良輔	専任
専門科目	理学療法治療学	神経系障害理学療法学	8	荒井沙織	専任
専門科目	理学療法治療学	神経系障害理学療法学実習	23	武内朗	専任
専門科目	理学療法治療学	神経系障害理学療法学演習	15	加藤宗規	専任
専門科目	理学療法治療学	内部障害理学療法学	8	今村創	専任
専門科目	理学療法治療学	内部障害理学療法学実習(喀痰・吸引)	23	平野正広	専任
専門科目	理学療法治療学	発達障害理学療法学総論	23	酒井実希	専任
専門科目	理学療法治療学	理学療法特講義Ⅰ	30	中村浩	専任
専門科目	理学療法治療学	理学療法特講義Ⅱ	30	盆子原秀三	専任
専門科目	理学療法治療学	スポーツ障害理学療法学演習	15	桑井太陽	非常勤
専門科目	理学療法治療学	老年期障害理学療法学演習	15	柘幸伸	専任
専門科目	理学療法治療学	理学療法治療学演習	15	盆子原秀三	専任
専門科目	地域理学療法学	地域リハビリテーション概論	8	柘幸伸	専任
専門科目	地域理学療法学	地域リハビリテーション理学療法学	8	荒巻英文	専任
専門科目	地域理学療法学	生活環境学	8	中村浩	専任
専門科目	応用理学療法学	理学療法カウンセリング	15	加藤宗規	専任
専門科目	応用理学療法学	医学論文(英文)	15	中村浩	専任

専門科目	応用理学療法学	理学療法管理経営学	8	山之口美喜生	専任
専門科目	応用理学療法学	卒業課題研究	30	加藤宗規	専任
専門科目	臨床実習	見学実習(通所また訪問 リハビリテーション)	23	理学療法学科全教員	兼任
専門科目	臨床実習	評価実習	69	理学療法学科全教員	兼任
専門科目	臨床実習	総合臨床実習(実習前 後の評価を含む)	368	理学療法学科全教員	兼任

【自己評価2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3

	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
見学実習(通所・訪問リハビリテーション)	2年後期	地域リハビリテーション概論	2年前期
評価実習	3年後期	理学療法特講 I	3年通年
総合臨床実習	4年通年	理学療法特講 I・臨床運動学実習	3年通年

● 基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

【自己評価3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	授業改善委員会
委員名（委員長）	河端 恵美子
組織の開催頻度	1年に6から8回
組織の取り組み内容	・ 学生による授業評価の分析（2回/年）
	・ 委員による授業参観の企画（2回/年）
	・ 教育改善の研修会の開催企画：全学教員研修会（1回/年）
	・ 外部研修会への参加
自己点検・評価結果の公表	HPで公表 授業評価内容をネットで公開

【自己評価4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	シラバス作成要領の見直し、及びシラバス点検
	委員構成等	教授会、教務構成員
	改善の仕組みの実際	シラバス記載内容の検討

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入ください。

カリキュラム委員会にて毎年、カリキュラムの検討、見直しを実施している。AP・CP・DPの項目において学生が「身につけているか」についての自己評価を定期的実施し、クラスルームで公表している。これにより学修成果の達成度について透明化をおこなっている。臨床実習前後の評価では筆記試験とOSCEを併用している。新卒者の国家試験合格率は全国平均以上であるが、現役生卒業率が80%以下であるため入試制度、卒業要件の見直し等による改善を図っている。
---

